

科目名	画像検査学 (Medical Imaging Technology)			科目コード	439
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (30時間)
科目区分	専門科目	履修時期	3 年次後期	関連DP	臨②③④
担当教員	佐田 榮司				
授業概要	近年、侵襲の少ない検査として画像診断はその重要性を増し、現在の医療では不可欠な検査となっている。画像検査のうち、臨床検査技師が業務として行えるものは超音波検査、MRI検査、サーモグラフィなどに限られているが、現在の画像検査を用いた診断では多くの方法で得られた画像やあるいはその他の検査を総合的に評価し診断に到る能力が必要とされている。最終的に得られる画像所見の評価が出来る能力を修得するための基礎的知識と実際の画像からの診断法について、様々な臓器について学ぶ。さらに、画像診断の臨床現場での現状や最先端技術についても言及する。				
授業目標	放射線画像検査、磁気共鳴画像検査、超音波画像検査、熱画像検査などから得られる画像所見の評価法を修得し、画像検査の結果を他の検査データと総合的に理解出来ることを目標とする。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	総論 (1)	画像検査概論、画像診断とは 各種画像診断法 1	佐田榮司
2	総論 (2)	各種画像診断法 2	
3	総論 (3)	各種画像診断法 3 中枢神経の画像診断 (1)	
4	臓器別画像診断 (1)	中枢神経の画像診断 (2) 頭部	
5	臓器別画像診断 (2)	” (3) 脊髄、脊椎	
6	臓器別画像診断 (3)	腹部臓器の画像診断 (1) 肝・胆・膵	
7	臓器別画像診断 (4)	” (2) 脾臓・副腎・腸管	
8	臓器別画像診断 (5)	” (3) 腎臓・泌尿器・生殖器	
9	臓器別画像診断 (6)	” (4) 消化管	
10	臓器別画像診断 (7)	胸部臓器の画像診断 (1) 肺・縦隔	
11	臓器別画像診断 (8)	” (2) 循環器・心臓	
12	臓器別画像診断 (9)	血管の画像診断 動静脈	
13	臓器別画像診断 (10)	表在臓器の画像診断 甲状腺・乳房	
14	臓器別画像診断 (11)	表在臓器の画像診断 関節・軟部組織	
15	総括	総合画像診断	
成績評価方法	筆記試験		
教科書	なし (講義資料を適宜配布)		
参考図書等	必要に応じて適宜紹介する。		
授業時間外の学習について			
関連科目	141 人体の構造と機能Ⅰ、142 人体の構造と機能Ⅱ、153 臨床病態学Ⅰ、154 臨床病態学Ⅱ、405 医用工学、416 臨床検査機器総論、420 放射線検査概論、435 生理機能検査学Ⅰ、436 生理機能検査学Ⅱ		
備考	実 佐田：医師 (医療機関)		